

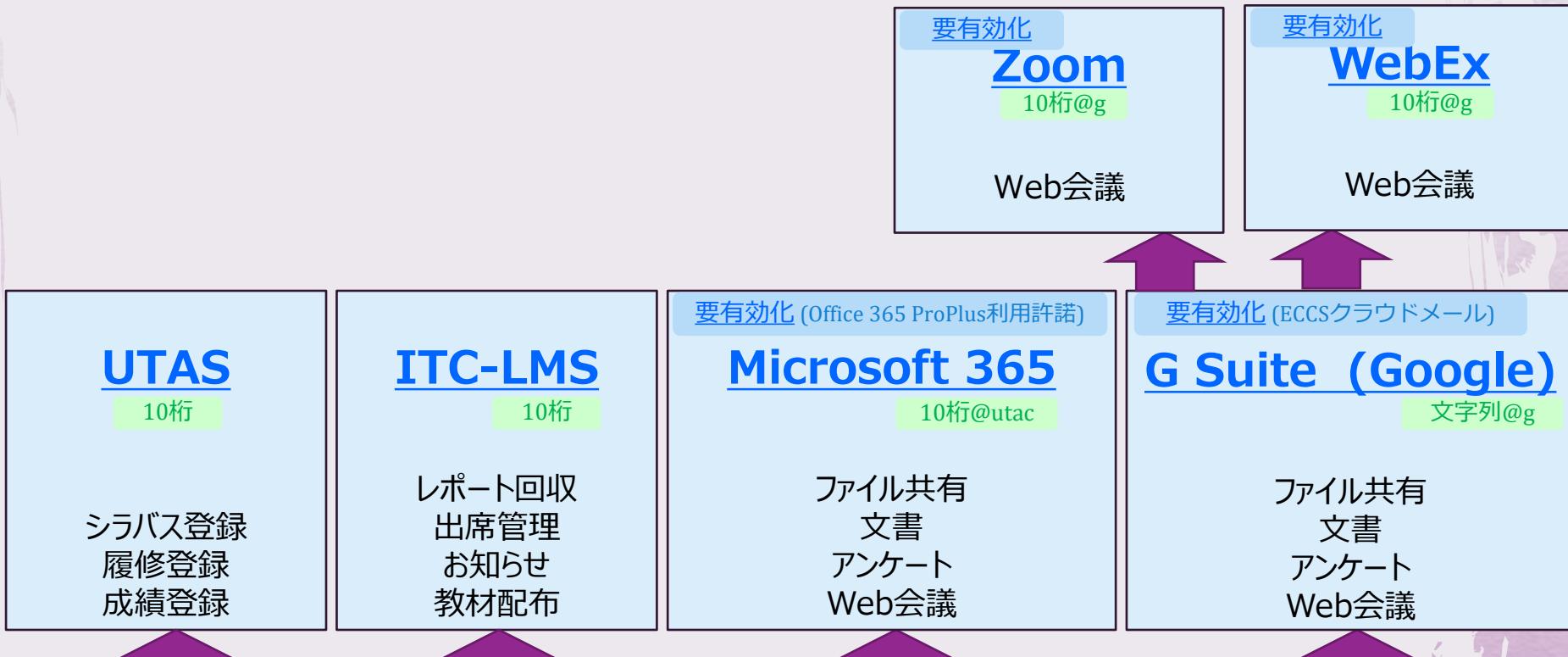
# 授業に必要なICTシステムの概要

---

情報基盤センター 田浦健次郎  
(9/11以降微修正あり)



# 概要



**UTokyo Account:** 個人に付与される大学アカウント(数字10桁)

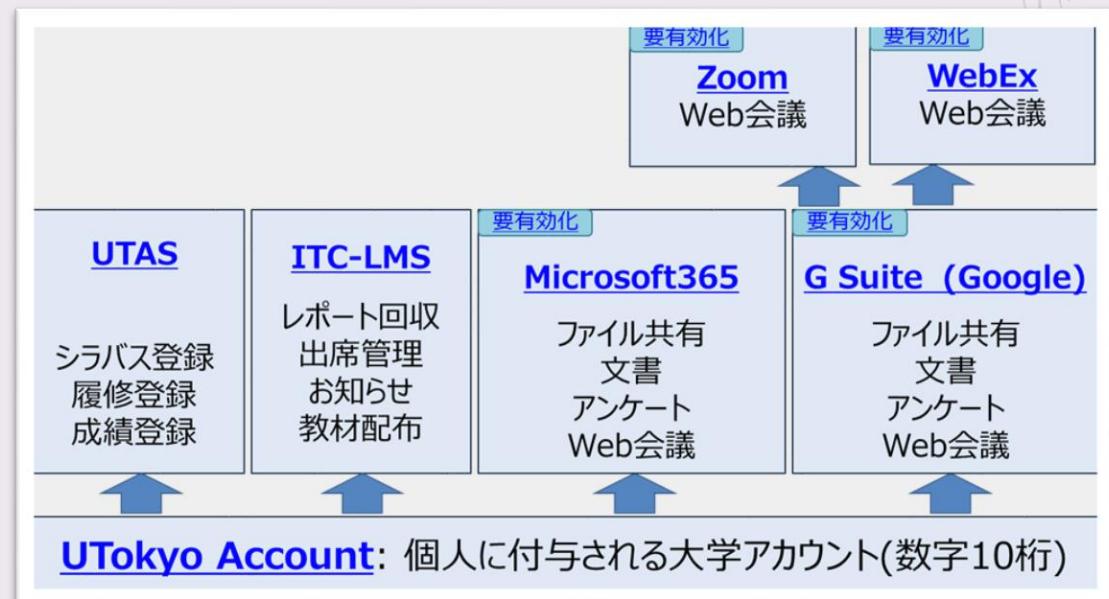
# 始める前に

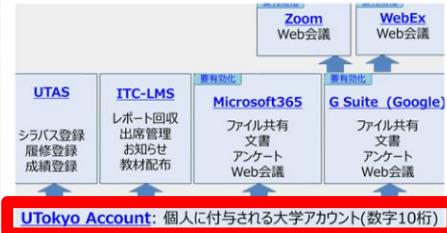
- ◆ 様々な情報はサイト  
<https://utelecon.github.io/> へ集約を目指しています
- ◆ 現在、Sセメスタ準備当初のものが多数残っていますがAセメスタ用に整理します  
(おそらくこの会の直後から)
- ◆ 検索ボックスとプルダウンメニューを使いこなすとよく見つかります



# 以降の内容

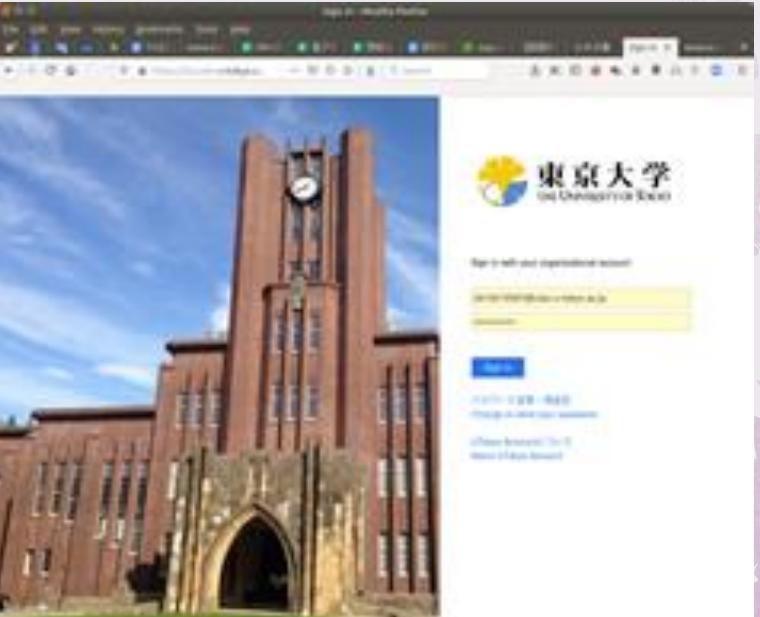
- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTASとITC-LMS
- ◆ Microsoft 365とG Suite (Google)
- ◆ ZoomとWebEx





# UTokyo Account

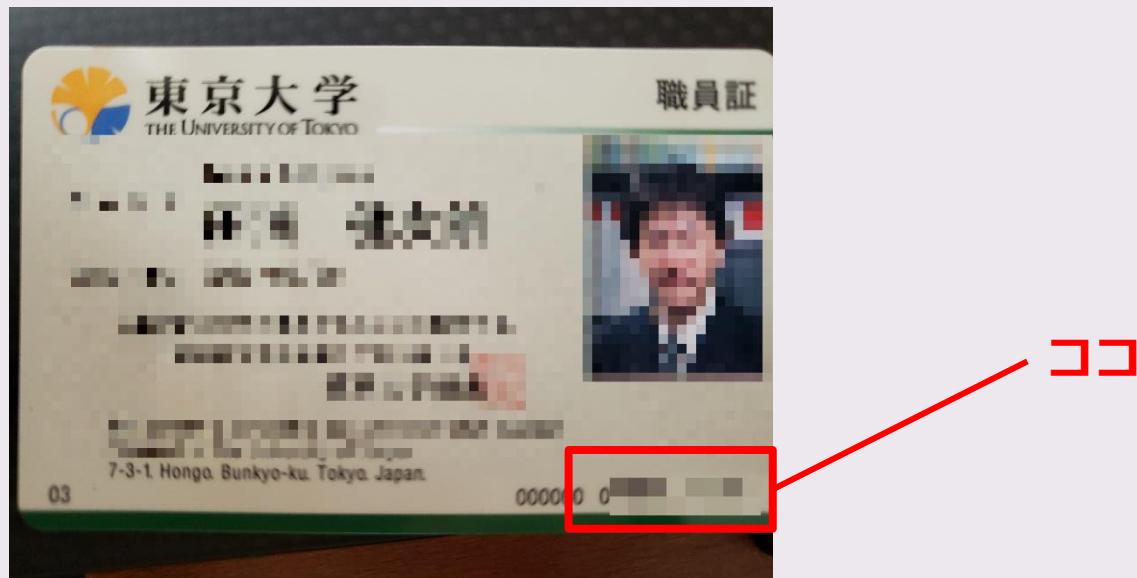
- ◆ はじめにUTokyo Accountありき
- ◆ すべてのサービスの根っこ
  - ◆ 大学アカウントでZoomを主催
  - ◆ シラバスや成績を（自分で）登録（UTAS）
  - ◆ 授業URLの通知やレポート回収でLMSを使う
  - ◆ ...



すべてに必要

# UTokyo Accountの正体

- ◆ 10桁の数字です
  - ◆ 2519285617 みたいな
- ◆ 常勤教職員全員に発行され、身分証明証に書かれています



# 非常勤の場合

- ◆ 常勤・非常勤問わず、授業に必要ならば割り当てるのが基本です
- ◆ 非常勤（あるいはアレンジご担当）の先生へ：必要なのに割り当てられていないということがあつたら、事務へご連絡ください
  - ◆ 必要な例：シラバス登録、成績をつける、LMSで課題を出す、Zoom授業をホストする、etc.
  - ◆ 不要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- ◆ 専攻・部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

# 2020年9月入学の学生への発行

## ◆ 研究科・専攻事務の皆様

- ◆ 9月からの新入生がUTAS, ITC-LMS, Zoomなどの利用準備ができるよう、[UTokyo Account](#)の早めの発行をお願いします

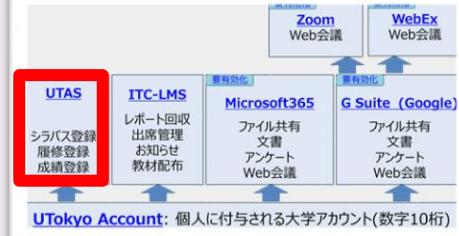
## ◆ 9/8付け 本部学務課教務チーム → 各学部・研究科(教育部)教務担当者

- ◆ 年次処理とは別に、新入生の学籍データを作成する部局等は早急に作成いただき、[UTokyo Account](#)の発行作業を進めてください。

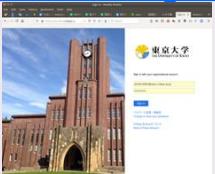
# UTAS



# UTAS

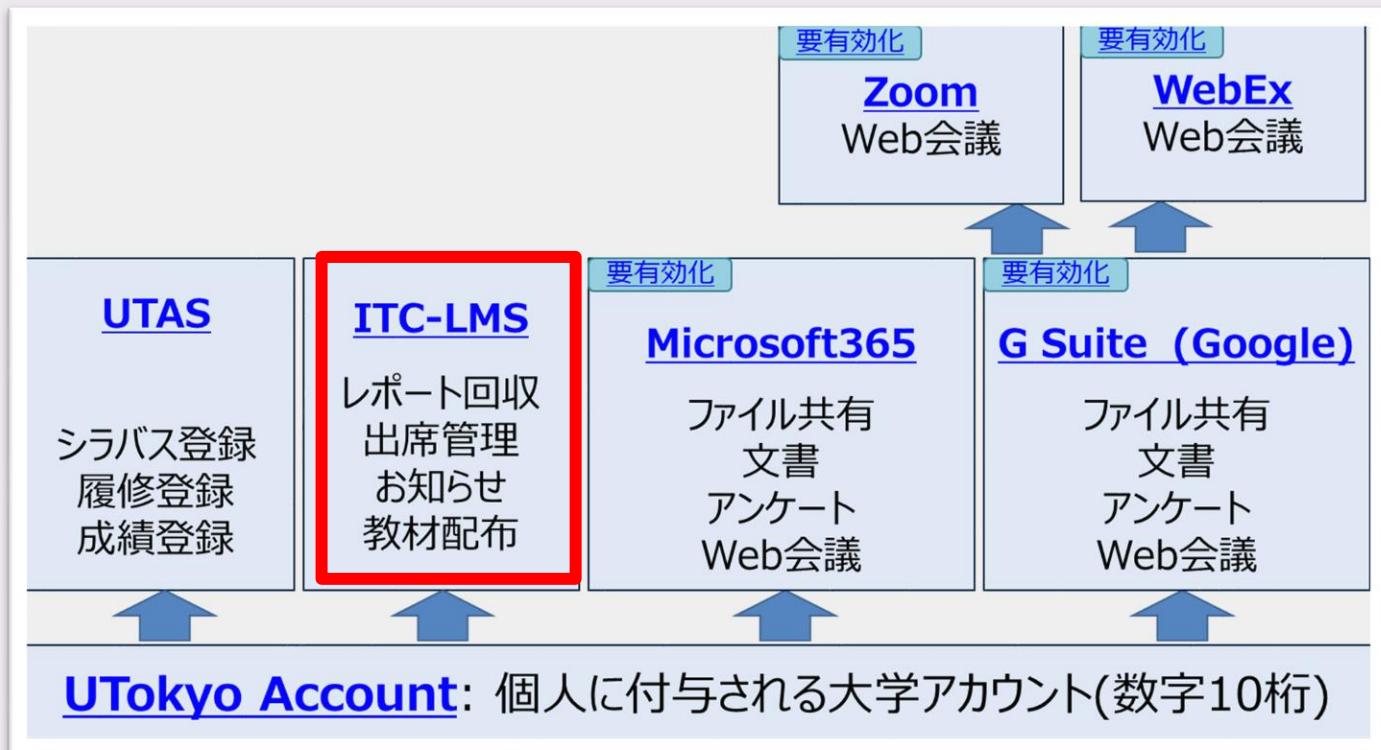


- ◆ 学務システム
- ◆ ログイン
  - ◆ <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>
  - ◆ UTokyo Account
- ◆ 教員
  - ◆ シラバス登録
  - ◆ 成績登録
- ◆ 学生
  - ◆ シラバス検索・閲覧
  - ◆ 履修登録
  - ◆ 成績確認



The screenshot shows the UTAS web interface. At the top, it displays the URL 'utas - the University of Tokyo - Mozilla Firefox'. The main header includes the 'UTAS - University of Tokyo Academic Affairs System' logo and user information (田浦 健次郎, スマホ版, English, 残り約30分, ログアウト). Below the header, there are several navigation links: HOME, 学生情報, カリキュラム, 履修, 成績・定期試験, 休補・スケジュール, シラバス, アンケート, 告示, その他, and LMS. On the left, there are two informational boxes: 'お知らせ' (New Information) and 'FAQ'. The 'お知らせ' box contains a message about automatic logout after 30 minutes of inactivity. The 'FAQ' box contains a question about disaster information. In the center, there is a 'MYスケジュール' (My Schedule) section for March 2020, showing a calendar with no scheduled events. At the bottom, there is a 'よく使うメニュー' (常用メニュー) (常用メニュー) section with links for '学生情報参照' (Student Information Reference) and '個人成績参照' (Personal Grade Reference).

# ITC-LMS





# ITC-LMS

- ◆ 学習管理システム
- ◆ ログイン
  - ◆ <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>
  - ◆ UTokyo Account で
- ◆ 機能
  - ◆ 出席管理
  - ◆ 学生と教員、学生同士のやり取り
  - ◆ 課題を出してレポート回収
  - ◆ テスト
  - ◆ 授業URLを知らせる
- ◆ 詳しくはChapter 3 (柴山) で



The top screenshot shows the ITC-LMS Login page with a 'Login' button. The bottom screenshot shows the ITC-LMS Class Schedule (出講表) page for the 2020 academic year, week S1, dated from April 1, 2020, to June 1, 2020. The schedule lists several classes, including 'プログラミング言語' and '初年次ゼミナール理科', taught by '田浦 健次郎'.

# そもそもLMSとは

- ◆ 一般にLMS（学習管理システム）は以下のような、これがないと意外に面倒なことをやってくれるシステム
  - ◆ クラスのメンバーと連絡を取る
  - ◆ クラスのメンバーにファイル（課題など）を配る
  - ◆ クラスのメンバーからファイル（レポート提出など）を受け取る
  - ◆ 課題の提出状況一覧を見る
- ◆ ITC-LMSではクラスのメンバーの登録も、教員がやる必要がない（履修学生を登録してくれる）

# UTASとITC-LMSが両方あるのはわ かりにくいのでは?

- ◆ はい 
- ◆ 今のところは以下のような区別とお考え下さい...
- ◆ **UTAS** : 学期前、学期後の処理
  - ◆ シラバス登録、成績登録
- ◆ **ITC-LMS** : 学期（授業）中の支援
  - ◆ 出席、レポート回収、etc.
- ◆ 覚え方、方便であって分かれていることを正当化しているのではありません

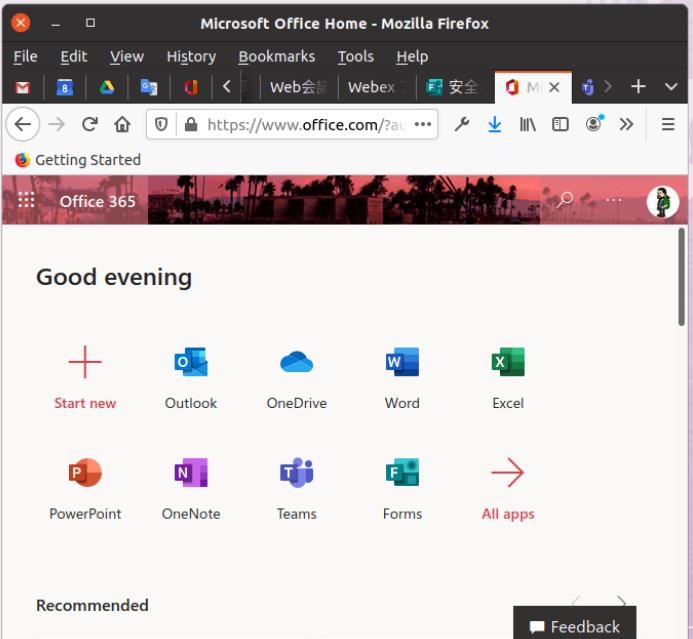
# Microsoft 365



# Microsoft 365



- ◆ 有効化（初めて使うとき）
  - ◆ UTokyo Account利用者メニュー → Office 365 ProPlus利用許諾
  - ◆ <https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ◆ サインイン
  - ◆ <https://www.office.com/>
  - ◆ UTokyo Account (罫あり; 次スライド)
- ◆ 機能
  - ◆ ファイル共有: OneDrive
  - ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
  - ◆ アンケート: Forms
  - ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
  - ◆ LMS的機能: Class Notebook



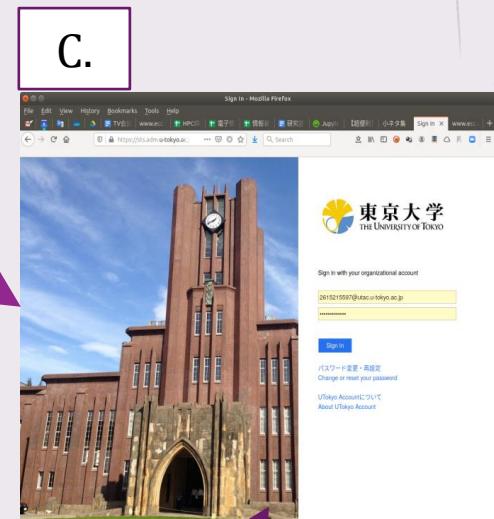
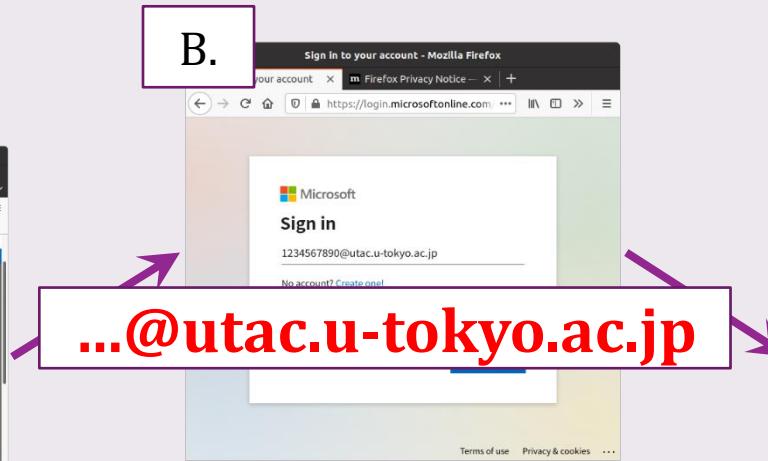
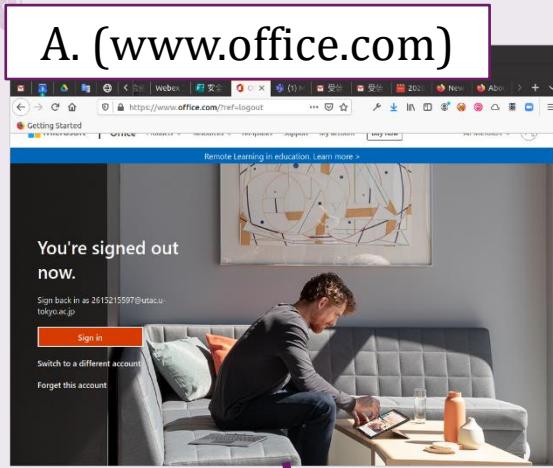


# Microsoftサインイン時の罠(1)

- ◆ 有効化してから実際にサインイン可能になるまで  
少々 (日中は最大3時間, 夜は翌朝11:00まで) お待ちください
  - ◆ 正確には, 11:00, 14:00, 17:00, 20:00に有効化がMicrosoftのシステムに反映されます

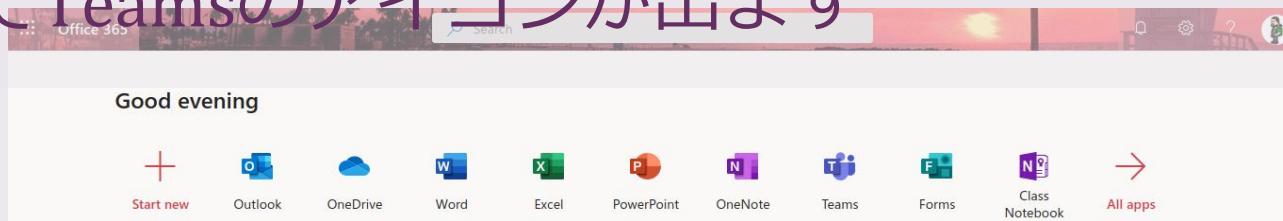
# Microsoftサインイン時の罠(2)

- ◆ A. サインイン画面からB. Microsoftの画面を経由する場合と C. UTokyo Account認証画面に行く場合がある
  - ◆ B. では ..@utac.u-tokyo.ac.jp を打ち込む (tips: 実は @の前はどうでもいい)



# 夏学期当初からのサービス変更

- ◆ Microsoft OneDriveで組織外とのファイル共有を可能にしました
- ◆ それによりMicrosoft OneDriveでファイルのアップロード機能が有効になりました
  - ◆ フォルダ上を右クリック→ファイルをリクエスト
  - ◆ 組織外の人 (e.g., 受験生) からの答案回収
- ◆ Teamsを教職員向けに有効にしました
  - ◆ サインイン後の画面でその他のアイコンとならんでTeamsのアイコンが出ます



# G Suite (Google)



# G Suite (Google)



- ◆ G Suite ≈ 組織で契約するGoogleサービス
- ◆ 本学が契約しているG Suite = **ECCSクラウドメール**
  - ◆ G Suiteは様々なアプリの集合で、○○メールという呼び方はややミスマッチ
- ◆ 有効化
  - ◆ UTokyo Account利用者メニュー → ECCSクラウドメール
  - ◆ <https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ◆ サインイン
  - ◆ <https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>
  - ◆ アカウント名 [xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)
  - ◆ xxxx部分、パスワード: 自分で設定

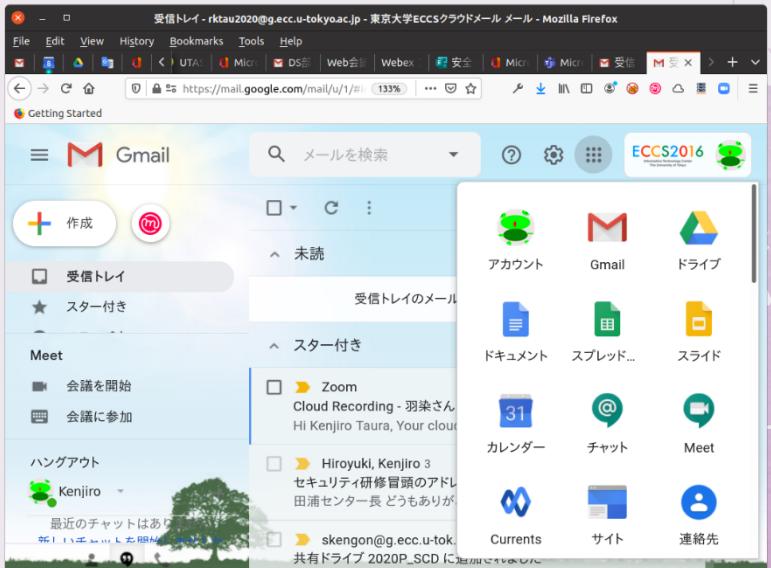


# G Suiteサインイン時の罠

- ◆ 有効化してから実際にサインイン可能になるまで少々（**最大1時間**）お待ちください
  - ◆ 正確には、毎時（00分）に有効化がGoogleのシステムに反映されます

# G Suite機能

- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom



# M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams (教職員のみ)	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ◆ 知つておくべき大きな違いはGoogleサービスが中国からアクセスできないこと

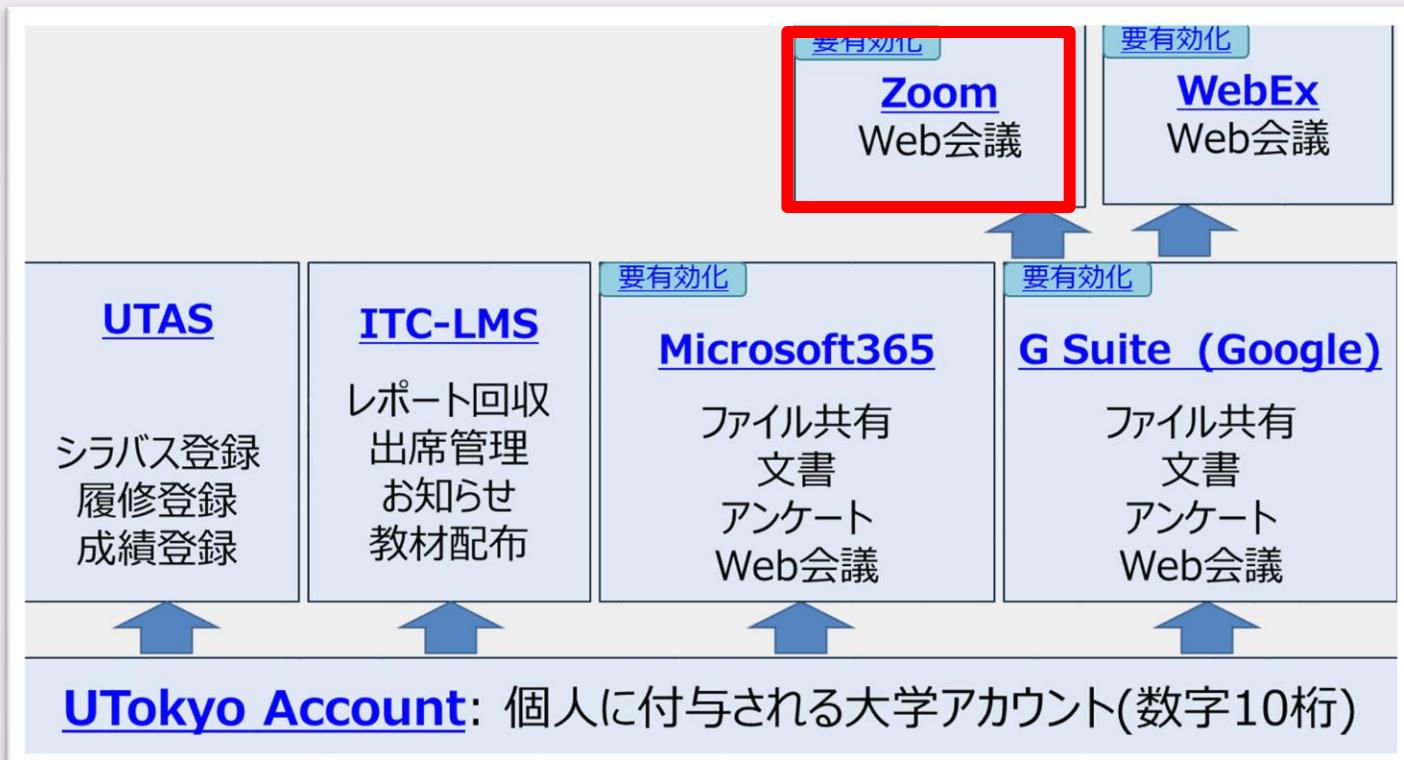
# MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有
- ◆ ファイル共有を安全に、うまく使えば授業以外の業務効率化もできます
  - ◆ 共有範囲
    - ◆ 特定の人を名指して共有
    - ◆ 組織内なら誰でも
    - ◆ 誰でも
  - ◆ 検索で見つかるか否か (Google)
  - ◆ ダウンロード可・不可

# 安全な情報共有のために

- ◆ スマホがある人は: G Suite 2要素認証設定
  - ◆ Googleにサインイン→Googleアカウントを管理→セキュリティ
  - ◆ Microsoftは現在できませんができるように準備中です
- ◆ 常に「リンクを共有」ではなく「特定の人とのみ共有」が使える場面では使う(少人数)

# Zoom





# Zoom

## ◆ 有効化

- ◆ [https://utelecon.github.io/zoom/create\\_account](https://utelecon.github.io/zoom/create_account)
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp をメールアドレスに指定してください (10桁: UTokyo AccountのID)

## ◆ サインイン

- ◆ <https://zoom.us/>
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jpで

# Zoomアカウントの今後

- ◆ Zoomアカウント名（サインイン用メールアドレス）
- ◆ 大規模会議、ウェビナー
- ◆ Zoom App Marketplaceについて
- ◆ 説明ページ

# Zoomアカウント名（サインイン用メールアドレス）について

- ◆ 以降、**10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp** のみを有効な Zoomアカウント名（サイン用メールアドレス）とします
  - ◆ そうでない場合は変更してください
- ◆ 現在は任意の **xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp** で使用しまいますが非公式です
- ◆ **10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp** でない人には、お知らせを流しますが、なくともお早目の対応をお願いします。方法：
  - ◆ <https://zoom.us/profile> ページのSign-In Email

# 大規模会議とウェビナー

- ◆ 現在：以下が全員に付与されている
  - ◆ 大規模会議 (500人収容)
  - ◆ ウェビナー (500人収容)
- ◆ → 変更後：
  - ◆ 大規模会議 (500人収容) 300アカウントまで
  - ◆ ウェビナー (500人収容) 50アカウントまで
  - ◆ ウェビナー (3000人収容) 若干

# 大規模会議、ウェビナーの運用 (割り当てポリシー)

- ◆ 大規模会議：授業に必要な先生のアカウントには常時割り当てる
  - ◆ [説明](#)
- ◆ ウェビナー：必要なイベントに、必要な期間中のみ割り当てる
  - ◆ [説明](#)

# Q. 「変更」 はいつ起きるか

- ◆ 8/1 → 8/8 → 9/15 → 未定（二転三転）
- ◆ 9/11 現在、Zoomのアカウント管理画面の不具合により作業が不可能になっている
- ◆ 「変更の日」にかかわらずZoomで大規模会議の開催、ウェビナーが必要な場合、今のうちに申し込みをお願いします（前スライドのリンクより）
- ◆ 変更に先立って申し込みすれば変更の日に影響はありません

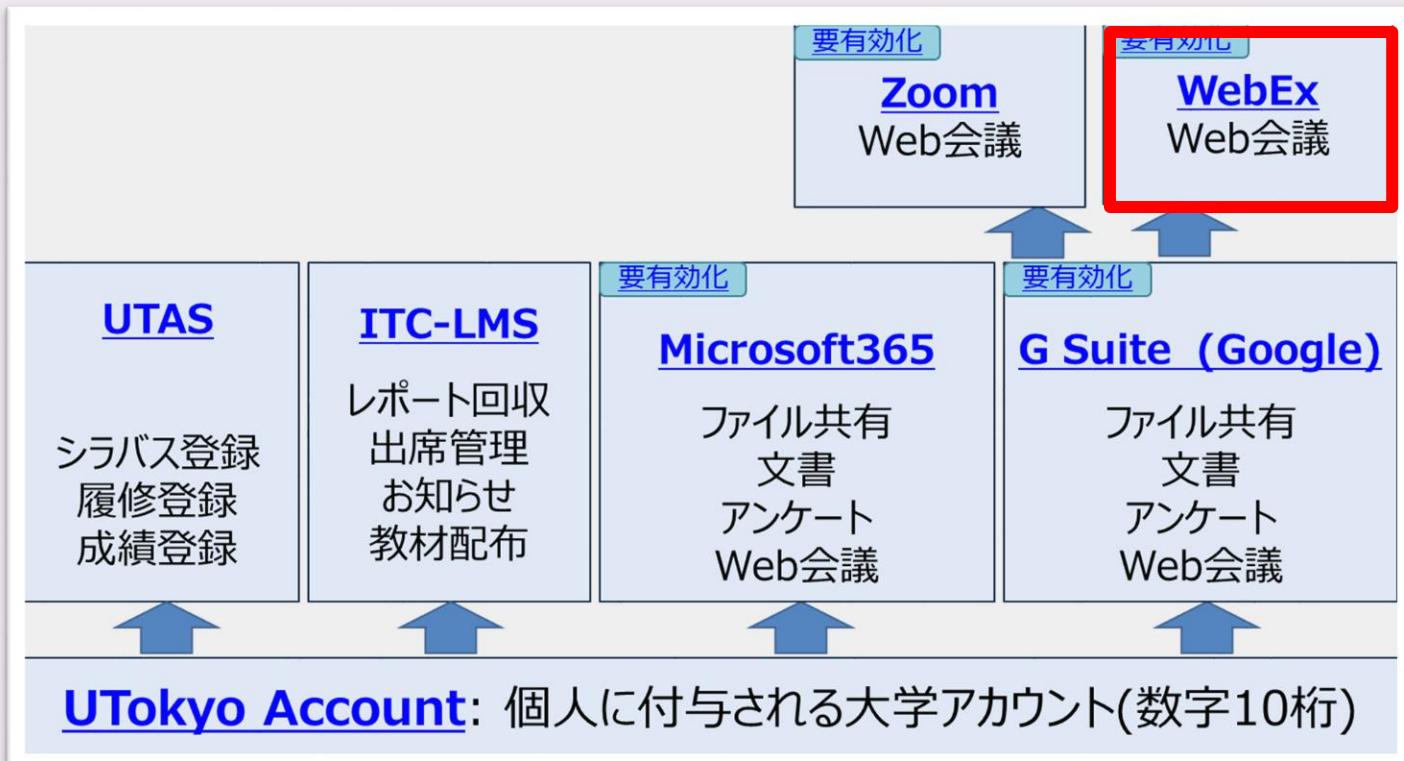
# Zoom App Marketplace

- ◆ Zoomと連携する様々なアプリケーション
  - ◆ 翻訳
  - ◆ 文字おこし
  - ◆ Email, Slackなどとの連携
  - ◆ など
- ◆ ユーザが使うには管理者の承認（Pre-Approve）が必要
- ◆ セキュリティへの潜在的懸念（reviewの必要）、管理（問題が見つかったアプリの利用停止など）のリソースがなく承認をしてきませんでしたが、今後承認・管理方式をしていく方向です

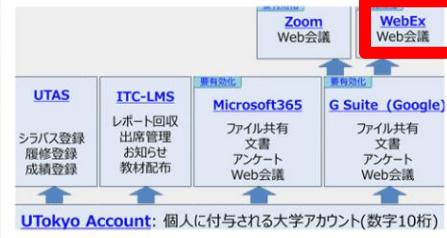
# FAQ

- ◆ Zoomを授業以外のことにつけてもよいか?
  - ◆ 授業に限定していません
  - ◆ 本学の教育研究、本学構成員としての職務のためであればOK
  - ◆ 明文化された利用規定は今後
- ◆ 大規模会議ライセンスは授業以外にも割り当ててもらえるのか?
  - ◆ ウェビナー同様一時的に割り当てます
  - ◆ WebExの利用もご検討ください

# WebEx



# WebEx



## ◆ 有効化

- ◆ [https://utelecon.github.io/webex/create\\_utelecon\\_account](https://utelecon.github.io/webex/create_utelecon_account)

## ◆ サインイン

- ◆ <https://utelecon.webex.com/>

## ◆ 機能

- ◆ WebEx Meeting (1000人まで) ≈ Zoom Meeting
- ◆ WebEx Events (1000人まで) ≈ Zoom Webinar

# Web会議比較

	Zoom	WebEx	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300	1000	250	300
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から 使えない	
E2E 暗号化		○		
同時に複数開催		○	○	○
待機室	○			○
手上げ	○	○		○
投票	○			

- ◆ 人数の大きい会議にはWebExもお考え下さい
- ◆ 機密性が重要な会議にもWebEx (Encrypted Meeting)をお考え下さい
- ◆ Meet 10月から新機能追加 <https://japan.googleblog.com/2020/08/google-for-education.html>

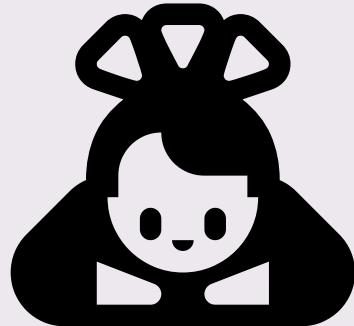
# アカウントのまとめ

<a href="#">UTAS</a>	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)	
<a href="#">ITC-LMS</a>	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)	パスワード連動
<a href="#">Microsoft 365</a>	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)(*)	
<a href="#">G Suite</a>	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp	
<a href="#">Zoom</a>	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp	
<a href="#">WebEx</a>	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp	
<a href="#">UTokyo Account利用者メニュー</a> (Microsoft 365, G Suiteの有効化、 UTokyo Accountパスワード変更)	10桁	
<a href="#">UTokyo Accountパスワードリセット</a>	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	

- ◆ (\*) Microsoft Sign-In画面では @utac 以降が必須 (@以前はどうでもよい)

# Q. ややこしすぎませんか?

◆ はい



◆ 改善（アカウントの統一・連携）に向けた努力をしています

